

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年11月 2日

計画の名称	長寿命化計画によるライフサイクルコスト削減の実現		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	横手市 (秋田県)
計画の目標	計画的な長寿命化対策を実施し、事故の未然防止及びライフサイクルコスト削減を図る		

計画の成果目標(定量的指標)	①処理場における長寿命化計画策定率を0.0%(H22)から100%にする。 ②老朽管の調査・改築を行い、改築率を0.0%(H22)から40.0%することによりライフサイクルコストの軽減を図る。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考					
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)						
①処理場における長寿命計画策定率 長寿命化計画策定済み処理場数(箇所) / 長寿命化計画を策定すべき処理場数(箇所) * 100	0.0%	100.0%	100.0%						
②老朽管改築率 老朽管改築延長 / 老朽管延長 * 100	0.0%	0.0%	40.0%						
全体事業費	合計 (A+B+C) 132百万円 11百万円	A	132百万円 11百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合	0.0% 0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 計画期間終了後(平成28年9月) 公表の方法 横手市のホームページにて掲載する。
横手市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
A11	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 改築	横手第2-10処理分区他長寿命化計画策定	汚水管 A= 8.9ha	横手市						15 4	長寿命化
A12	下水道	過疎	横手市	直接	—	処理場 改築	山内浄化センター	長寿命化計画策定	横手市						20 7	長寿命化
A13	下水道	過疎	横手市	直接	—	処理場 改築	山内浄化センター	汚泥処理設備更新	横手市						50 0	長寿命化
A14	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 改築	横手第2-10処理分区他実施設計	管渠実施設計 A= 8.9ha	横手市						2 0	長寿命化
A15	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 改築	横手第2-10処理分区(老朽管改築・管更生)	汚水管 φ=250mm A= 8.9ha	横手市						45 0	長寿命化
合計											132 11					
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
											合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> 横手市の防災・減災・安全な市街地の実現に寄与するため、老朽化した下水道施設（山内浄化センター）の改築更新を計画的に行うことにより、事故を未然に防止し、安全性を向上させた。 							
II 定量的指標の達成状況		指標①処理場における長寿命計画策定率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	老朽化対策のための調査を行ったが事業要件の変更により事業化を見送った。					
			最終実績値	100.0%							
		指標②老朽管改築率	最終目標値	40.0%	目標値と実績値に差が出た要因						
			最終実績値	0.0%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)											
3. 特記事項（今後の方針等）											
<ul style="list-style-type: none"> 本計画においては、定量的指標はほぼ達成することが出来た。 今後は、ライフサイクルコストの最小化を図るため、計画的な下水道施設の長寿命化及び耐震化対策を行うことにより、施設の持続的な管理・運営を図る。 											